

平成29年度 公共事業再評価調書

(区分) 国補・県単

1. 再評価調書

| | | | | | | | | |
|--|--|--------------------|---------|-----------|------------------|-----|------|-----|
| 事業名 | 砂防事業 [通常砂防事業 (国補)] | | 事業箇所 | 南アルプス市曲輪田 | 地区名 | 大和川 | 事業主体 | 山梨県 |
| | 当初計画 | 現計画 | 今回見直し予定 | | ⑤再評価時の評価状況 なし | | | |
| 計画期間 | H19~H22 | H19~H29 | H19~H32 | | | | | |
| 総事業費 | 200百万円 | 380百万円 | 460百万円 | | | | | |
| (1) 事業の概要 | | | | | | | | |
| ①事業目的及び効果 大和川は流域面積が3.1km ² と大きな流域をもつ溪流である。平成16年9月に山腹崩壊が発生している。流域には他にも拡大の恐れがある崩壊地があると同時に、溪岸浸食が著しく、溪床には大量の不安定土砂が堆積している。土砂氾濫区域内には人家92戸のほか市道、広域農道、避難場所となる公民館等があり、今後の台風や集中豪雨により土石流が発生すると、大きな災害を引き起こすことが予想される。このため治山事業と連携を図るなかで、土石流を防止する砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止するものである。 保全対象：人家92戸、市道、広域農道、公民館等の保全 | | | | | | | | |
| ②事業概要 測量・地質調査・設計・用地調査・用地補償 一式 堰堤工（不透過型かさ上げ）1基 H=7m→12m L=84.0→102.5m V=6,945m ³ | | | | | | | | |
| ③現計画の全体計画（今回の再評価で変更する前の内容） | | | | | | | | |
| | 平成28年度まで | 平成29年度 (評価実施年度) | | | | | | |
| 工事内容 | 測量・調査・設計 用地・補償 堰堤（かさ上げ）1基 V=6,945m ³ 付替水路工 一式 付替林道工 一式 | 付替水路工 一式 | | | | | | |
| 事業費 | 350百万円 | 30百万円 | | | | | | |
| ④特記事項 堰堤工は平成32年度完成を目指し、事業を推進中。 | | | | | | | | |
| (2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容) | | | | | | | | |
| ①地域・住民の意向状況 平成25年10月に大島で発生した土砂災害（全壊家屋50軒、死者36名）や平成26年8月に広島市で発生した土砂災害（全壊家屋133軒、死者74人）を受け、住民の防災意識が高まっており、平成27年8月に地元住民に再度、土砂災害に関する説明会を実施し、地元住民から早期完成の要望を受けた。 | | | | | | | | |
| ②産業・経済情勢 なし | | | | | | | | |
| ③国等の方針変更 なし | | | | | | | | |
| ④上位計画・関連事業計画等の変更 「ダイナミックやまなし総合計画」（平成27年12月策定） 「山梨県強靱化計画」（平成27年12月策定） 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」（平成27年12月策定） | | | | | | | | |
| ⑤自然環境条件等の変化 なし | | | | | | | | |
| ⑥その他 なし | | | | | | | | |
| (3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析] | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C（19年度） 便益（B）/費用（C）=2.8>1.0 再評価時計画における事業全体B/C（29年度） 便益（B）/費用（C）=2.2>1.0 (山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上) | | | | | | | | |

2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]

①これまでの計画変更等の概要

「事業期間及び事業費の変更」

現地の詳細調査を実施したところ、当初の想定よりも土砂収支量が増えたため、堰堤の規模も当初想定よりも大きくなった。また、堰堤の見直しに伴い既設の林道の付け替え工事においても、林道の法線及び縦断の変更が必要になった。このため、堰堤の見直しと林道計画の見直しを行うため、総事業費を180百万円増工するとともに、計画期間を7年延長した。

| | 当初 | 現計画 | 増減 |
|------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------|
| 総事業費 | 200百万円 | 380百万円 | 180百万円の増 |
| 計画期間 | H19~H22 | H19~H29 | 7年の延長 |
| 堰堤工 | H=7m→11m V=3,950m ³ | H=7m→12m V=6,945m ³ | |
| 付替林道 | L=320m | L=405m | 85mの増 |

②施行済みの事業内容（(1)③「全体計画」に記載した内容と比較）

| | 平成28年度まで | 平成29年度 (評価実施年度) |
|------|---|--------------------|
| 工事内容 | 測量・調査・設計 用地・補償 堰堤工(不透過型) V=4,785m ³ 付替水路工 付替林道工 | 付替水路工 |
| 事業費 | 350百万円 | 30百万円 |

③進捗率（現計画に対する実績）

| | *平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|-----|---------|----------------------------|--------|--------|--------|
| 計 画 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 16.2% |
| 実 績 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 16.0% |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
| 計 画 | 34.5% | 47.7% | 60.8% | 74.3% | 87.7% |
| 実 績 | 32.9% | 55.4% | 55.4% | 68.5% | 68.5% |
| | *平成29年度 | 算出方法 | | | |
| 計 画 | 100.0% | 計画コンクリート打設量/総計画コンクリート量×100 | | | |
| 実 績 | 68.5% | 実施コンクリート打設量/総計画コンクリート量×100 | | | |

*事業着手年度又は再評価、再々評価実施年度

*H29の実績は見込み

④事業の進捗が順調でない理由

堰堤工の堆砂敷内に地元の農業用水路があり、付け替えが必要になった。地元水利組合との付け替え協議に不測の日数を要したため。

⑤今後の事業執行上の問題点

・水路の付け替えが完了しなければ残りの堰堤工事に着手出来ないため、確実に水路工を進捗させる必要がある。

⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載）

農業用水路の付け替えの残工事をH29年度に実施し、事業期間を3年延長し、平成32年度の完成を目指す。

⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）

・総事業費の見直し

| 内容 | 事業費 |
|--------|-------|
| 堰堤付替水路 | 80百万円 |

(5) 評価項目 [環境への配慮]

構造物の埋戻工や盛土工については、現地発生材を利用し、植生については現地産が生育するよう配慮する。

(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性]

なし

(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]

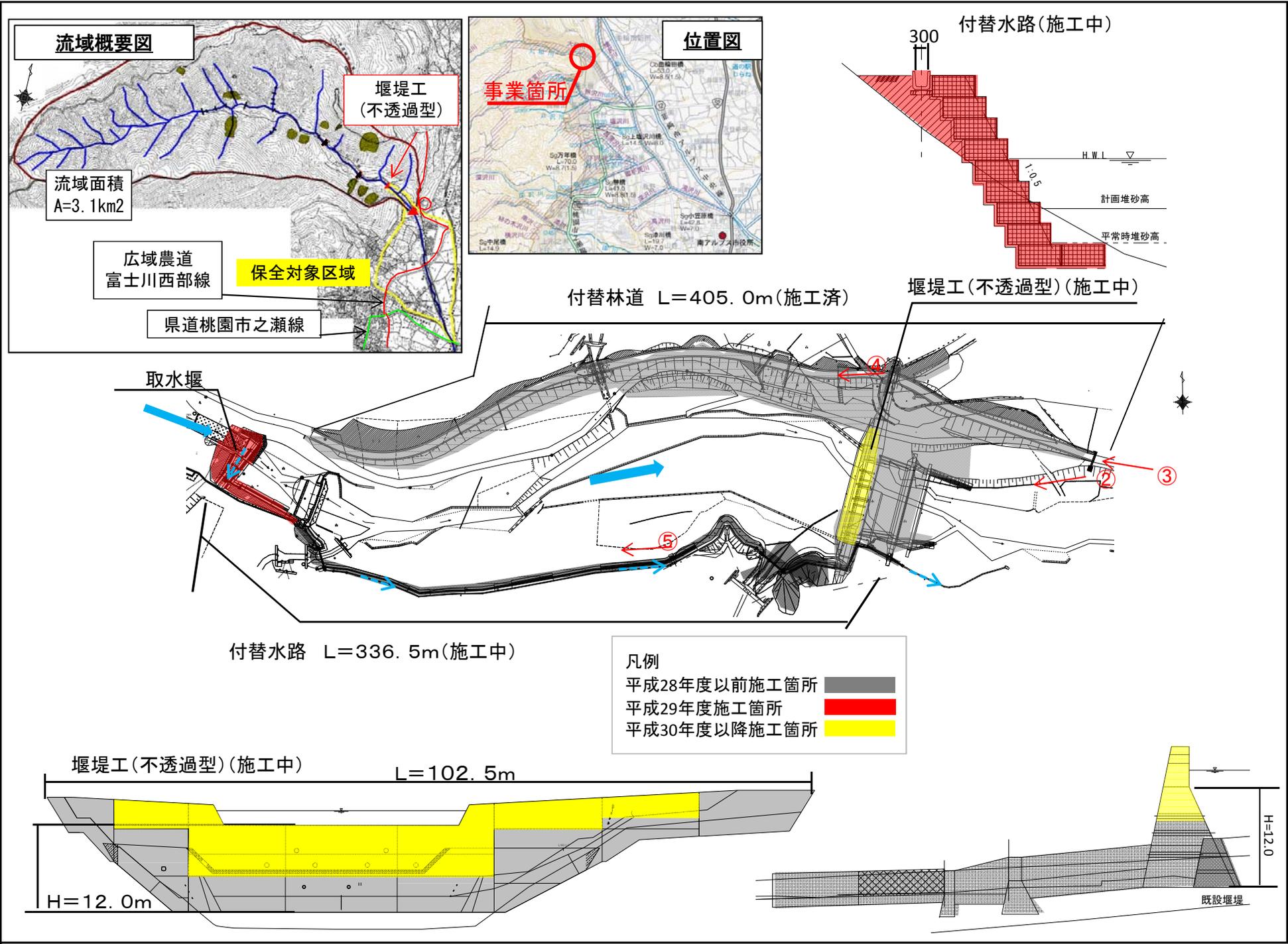
なし

(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他 ()

(理由)

土砂災害を未然に防止するため、事業期間を3年延長し、総事業費を80百万円増額して、平成32年度の完成を目指す。

3. 添付資料シート (2)



①全景



②堰堤工 (不透過型) (施工中)



③付替林道 (施工済)



④付替林道 (施工済)



⑤付替水路（施工中）



⑥山腹崩壊状況



⑦保全対象



